

令和5年度
2月号

幼稚園だより

令和6年1月31日
文京区立湯島幼稚園



一人一人が輝く

副園長 澤田 亮

2月の発表会に向けて、幼稚園では楽器の音が聞こえてきたり劇に向けて表現遊びや製作活動をしたりする姿が、各クラスで見られています。年長組は友達とアイデアを出し合ってストーリーを考えています。また、板段ボールを段ボールカッターで切ったり絵の具で色を塗ったりして、遊園地ごっこでの経験が活かされていると感じます。年中組では教師の合図に合わせてリズムを刻んだり、年少組では音楽に合わせて体操を楽しんだりしています。それぞれ自分なりに表現を楽しむ姿が見られています。

幼稚園の子どもたちを見ていると、好きなことや得意なことが一人一人違って本当に個性豊かだと感じます。以前読んだ本に、好きなことや得意なことを認めて伸ばすことが、子どもの成長に重要だとありました。日本では、苦手なことを克服することに重きが置かれることが多いそうです。確かに苦手なことをできるようになることは大事なことです。以前はできなかったことができるようになると達成感や満足感を味わいます。しかし、そこには時間や労力がかかり、楽しい時間ではない可能性もあります。それよりも、好きなことをとことん取り組む方が楽しく、自信にもつながります。「自分の好きなものはこれだ」「自分はこれが得意だ」と言えることは素敵ですし、きっと友達の中でも「あの子はこれが好きだ」「このことはあの子に聞こう」と認められることにもなるでしょう。

先程の取り組みの様子でも、たくさんの姿が見られています。相談の場面では友達に自分の思いを話す子どもが輝きます。一方で、製作が好きな子どもは劇に使うものを集中して作ります。音楽に合わせて楽器を楽しむ子どももいますし、歌うことが楽しい子どももいます。一人一人楽しいと思うことや夢中になることは違います。発表会当日は、子どもたちが保護者の前でドキドキしながら劇や歌、合奏を披露します。ぜひ、その発表に向かう毎日の中で、楽しんだことや夢中になったことに思いを馳せながら、温かい目で見ていただければ嬉しいです。



動物になって楽しく
踊るよ



音楽に合わせて鳴ら
してみよう



「そっち持っていて」
「ドアを切るよ」